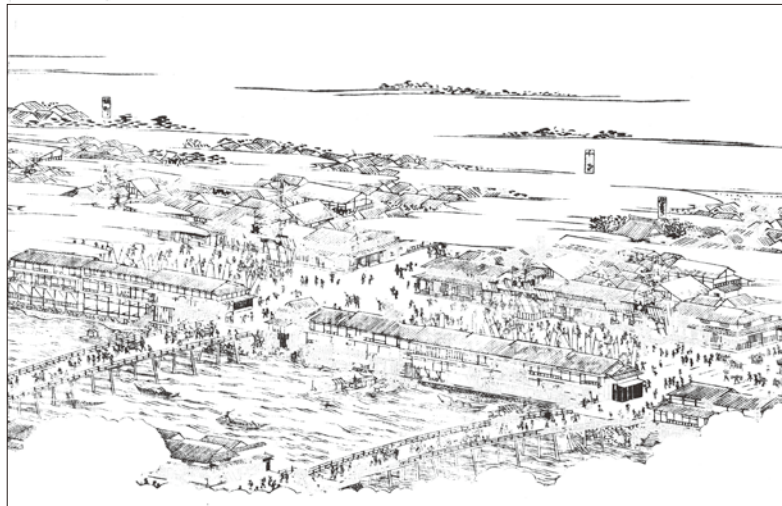


シンポジウム「道頓堀と文楽」 ～につぼん文楽公演に寄せて

大阪で生まれ、大阪の庶民に育まれてきた「人形浄瑠璃文楽」。17世紀後半、大阪・道頓堀の劇場・竹本座で人形浄瑠璃の劇団を旗揚げした竹本義太夫は、浄瑠璃作者の近松門左衛門と提携して数多くのヒット作品を生み出しました。当時、道頓堀には芝居（劇場）がいくつもあり、歌舞伎なども上演されていましたが、18世紀には人形浄瑠璃は歌舞伎をしのぐ人気があったと伝えられています。



道頓堀芝居側 (摂津名所図会)

道頓堀は、今年、開削400年の節目の年を迎えています。この記念すべき年に「人形浄瑠璃文楽」の価値を再認識し、その魅力を多くの方々に知ってもらいたいと、来る10月17日から4日間、「につぼん文楽 in 難波宮」と銘打って、檜づくりの組み立て舞台で公演を開催します。

この公演に寄せて、シンポジウムを開催します。テーマは「道頓堀と文楽」。道頓堀をよく知るお二人、藪田貫さん、鳥居弘昌さんには、歴史的背景や当時の様子などについて大いに語り合い、そして、桐竹勘十郎さんには文楽の魅力をたっぷりとお話していただきます。

日時：2015年10月1日(木) 19時開演(20時30分終演予定)
会場：ドーンセンター パフォーマンススペース
定員：150名

内容：「CGによる道頓堀界隈の景観の復元」を見る
道頓堀開削400年の歴史を知る
道頓堀と文楽
につぼん文楽について

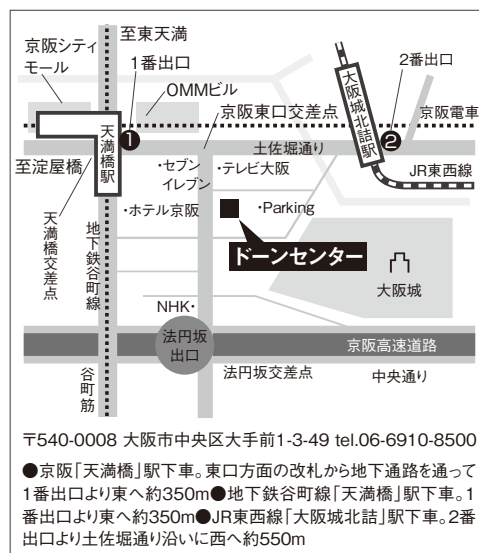
パネラー：藪田貫(関西大学文学研究科教授、大阪都市遺産研究センター長)
鳥居弘昌(上方文化再生実行委員会事務局長、千日山弘昌寺住職、トイホール代表)
桐竹勘十郎(人形浄瑠璃文楽座 人形遣い)

司会：亀岡典子(産経新聞社文化部 編集委員)

協力：NPO法人 人形浄瑠璃文楽座

お申込み：①氏名 ②参加人数 ③電話番号 を明記の上、
FAX もしくは E-mail でお申込みください。 **入場料無料**
FAX：03-6233-8947 / E-mail：info@nipponbunraku.com

お問合せ：につぼん文楽プロジェクト 03-6233-8948 (平日10:00～17:00)
NPO 法人 人形浄瑠璃文楽座 06-6211-6131



〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 tel.06-6910-8500

●京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通過して1番出口より東へ約350m●地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m●JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m

※定員に達しましたらお申込みは締切らせて頂きます。

持ち込み自由

飲みながら 食べながら 文楽

につぼん文楽

Nippon Bunraku

in 難波宮

2015年10月17日(土)～20日(火) ①12:00開場 14:00開演/②16:30開場 18:30開演
会場：難波宮跡公園(大阪歴史博物館・NHK前) / チケット料金：2,000円(自由席)

演目・出演：「二人三番叟」 豊竹睦大夫、鶴澤清暁、吉田玉男ほか

「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」 竹本津駒大夫、鶴澤藤蔵、桐竹勘十郎ほか

詳細は、につぼん文楽プロジェクトホームページ (<http://www.nipponbunraku.com>) をご覧ください。